

# 要安全確認計画記載建築物（防災拠点建築物（第1次指定分））の耐震診断結果の公表

令和8年3月31日現在版 福島県建築指導課

## ■耐震診断結果の総括表

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる可能性は低く、倒壊するおそれはない。

所管行政庁	建築物の数			地震(震度6強以上)に対する安全性			工事中 (内数)	耐震化率
	計	所有者の区分		I	II	III		
		公共	民間	倒壊・崩壊の危険性が 高い	倒壊・崩壊の危険性が ある	倒壊・崩壊の危険性が 低い		
				現行耐震基準未満（耐震改修等の努力義務あり）		現行耐震基準相当		
福島県	<u>58</u>	<u>57</u>	<u>1</u>	<u>12</u>	<u>6</u>	<u>40</u>	<u>1</u>	<u>69.0%</u>
福島市	46	43	3	2	0	44	0	95.7%
合計	<u>104</u>	<u>100</u>	<u>4</u>	<u>14</u>	<u>6</u>	<u>84</u>	<u>1</u>	<u>80.8%</u>

※1つの建築物に対し、診断結果が複数ある場合は、安全性が低い方のランク（I>II>III）で集計しています。

※福島市所管分については、所管行政庁である福島市において、結果の公表を実施しています。

※耐震化率は地震（震度6強以上）に対する安全性がIIIの建築物を建築物の総数で除したものです。

※耐震化率の考え方は、国の方針に合わせ、解体・用途廃止等をした建築物を含みます。

# 要安全確認計画記載建築物(防災拠点建築物)の耐震診断結果(所管行政庁:福島県)

令和8年3月31日現在

## ■第1次指定

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I,II,III)	耐震改修等の予定		備考 (改修予定等の補足)
									内容	実施時期	
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	二本松市	塩沢住民センター	二本松市塩沢町1-238-1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.32$ $C_{TU} \cdot S_D=0.99$	III			耐震改修済み 令和3年6月完了
2	二本松市	石井住民センター	二本松市平石町365-1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.24$ $C_{TU} \cdot S_D=0.98$	III			耐震診断の結果耐震性有
3	二本松市	新殿住民センター	二本松市西新殿字西1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.864$	III			耐震診断の結果耐震性有
4	二本松市	旭住民センター	二本松市百目木字向町126	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.77$ $C_{TU} \cdot S_D=1.33$	III			耐震診断の結果耐震性有
5	二本松市	戸沢住民センター	二本松市戸沢字下田100	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.81$ $C_{TU} \cdot S_D=1.35$	III			耐震診断の結果耐震性有
6	伊達市	保原体育館	伊達市保原町字宮下111-4	体育館	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.06$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	III			耐震改修済み 平成30年3月完了
7	川俣町	川俣町中央公民館	川俣町字樋ノ口11	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{S0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	III	耐震基本計画 耐震補強設計 耐震改修	完了 令和2年3月 完了 令和3年3月 着手 令和3年6月 完了 令和4年6月	耐震改修済み 令和4年6月完了
8	川俣町	川俣幼稚園	川俣町字中島5-1	幼稚園	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.13$ $q=0.53$	I-	解体予定	令和6年度	
9	川俣町	福田幼稚園	川俣町大字羽田字山ノ坊15	幼稚園	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.06$ $q=0.25$	I-	解体予定	近年中	
10	川俣町	福田公民館	川俣町大字羽田字姥作6	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=2.5$ $C_{TU} \cdot S_D=1.5$	III			耐震診断の結果耐震性有
11	川俣町	山木屋公民館	川俣町山木屋字小塚5-8	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.3$ $q=1.29$	II	検討中	未定	

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考 (改修予定等の補足)
										内容	実施時期	
A	B	C		D	E	F	G	H	I	J	K	L
12	田村市	滝根行政局	A棟 B棟	田村市滝根町神俣字関場118	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=0.41$ $C_T \cdot S_D=0.40$  $IS/IS0=0.88$ $CT \cdot SD=0.42$	I	建替を検討中		
13	田村市	大越体育館		田村市大越町上大越字元池175	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$IS=0.75$ $q=2.085$	III			耐震改修済み 令和2年3月完了
14	田村市	常葉体育館		田村市常葉町常葉字宮川12	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=1.00$ $q=3.19$	III			耐震改修済み 平成30年2月完了
15	田村市	七郷地区公民館		田村市船引町門沢字新館117	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.60$ $C_{TU} \cdot S_D=1.20$	III			耐震診断の結果耐震性有
16	平田村	中央公民館		平田村大字永田字切田158-5	庁舎	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.64$ $C_{TU} \cdot S_D=0.78$	II			令和4年3月除却完了 現在の建物を解体し新たに建設する
17	平田村	勤労者体育センター		平田村大字永田字切田158-4	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$IS=0.82$ $q=1.48$	III			耐震改修済み 令和3年3月完了
18	白河市	白河市役所本庁舎		白河市八幡小路7-1	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.457$	III			耐震改修済み 令和3年3月完了
19	西郷村	西郷村役場庁舎		西郷村大字熊倉字折口原40	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.60$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	II	建替	工事 ~令和8年4月	工事中
20	矢吹町	三神公民館		矢吹町神田西130-3	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.32$ $C_{TU} \cdot S_D=0.951$	III	耐震改修	工事 令和6年度	耐震改修 令和7年2月完了
21	矢吹町	矢吹町役場庁舎		矢吹町一本木101	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.77$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	II	耐震改修	基本設計 ~令和7年度 実施設計 令和8年度 工事 令和10年度完了目標	
22	会津若松市	会津若松市役所本庁舎	旧館 新館	会津若松市東栄町3-46	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=0.27$ $C_T \cdot S_D=0.26$  $I_s/I_{s0}=0.40$ $C_T \cdot S_D=0.37$	III	旧館:免震補強 新館:建替	工事 ~令和7年度	旧館: 耐震改修済み 令和8年3月完了 新館: 令和7年5月建替え完了

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考 (改修予定等の補足)
										内容	実施時期	
A	B	C		D	E	F	G	H	I	J	K	L
23	会津若松市	北公民館		会津若松市高野町大字上高野字村前28	集会場	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.82$ $C_{TU} \cdot S_D=1.39$	III			耐震改修済み 令和5年9月完了
24	会津若松市	南公民館		会津若松市門田町大字中野字大道西13	集会場	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.70$ $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	III			耐震改修済み 令和4年3月完了
25	会津若松市	北会津公民館		会津若松市北会津町中荒井字宮西1-1	集会場	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.32$ $C_{TU} \cdot S_D=0.20$	I	令和7年度までの耐震化を目標に検討中	令和12年度完了目標	
26	会津若松市	河東公民館		会津若松市河東町郡山字中子山32	集会場	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.43$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	I	令和7年度までの耐震化を目標に検討中	令和12年度完了目標	
27	会津若松市	ふれあい体育館	夫アリーナ	会津若松市一箕町大字八幡字八幡2-1	体育館	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.39$ $q=1.35$	I-	令和5年度内に方針を決定する予定		用途廃止 令和5年度
			小アリーナ					$I_s=0.17$ $q=0.52$				
28	会津若松市	会津若松市文化センター		会津若松市城東町14-52	集会場	避難所	《要緊急大規模建築物で公表済》		I-			用途廃止 令和5年度 今後の対応を検討中
29	会津坂下町	若宮コミュニティセンター附属体育館		会津坂下町大字牛川字寿ノ宮1715	体育館	避難所	屋内運動場等の耐震性能診断基準 一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.16$ $q=0.51$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和9年度まで	
30	会津坂下町	金上コミュニティセンター附属体育館		会津坂下町大字福原字福川原913	体育館	避難所	屋内運動場等の耐震性能診断基準 一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.17$ $q=0.31$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和9年度まで	
31	会津坂下町	広瀬コミュニティセンター附属体育館		会津坂下町大字青木字青木139	体育館	避難所	屋内運動場等の耐震性能診断基準 一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.18$ $q=0.55$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和9年度まで	
32	会津坂下町	八幡コミュニティセンター附属体育館		会津坂下町大字塔寺字北原787	体育館	避難所	屋内運動場等の耐震性能診断基準 一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.11$ $q=0.35$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和9年度まで	
33	会津坂下町	坂下厚生総合病院		会津坂下町字逆水50	病院	医療救護施設	《要緊急大規模建築物で公表済》		III			新施設 令和3年11月開院 除却 令和6年3月完了
34	金山町	本名公民館		金山町大字本名字清水807	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	III			耐震診断の結果耐震性有

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考(改修予定等の補足)
									内容	実施時期	
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
35	金山町	沼沢集会所	金山町大字沼沢字上田表962-1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.39$ $C_{TU} \cdot S_D=1.06$	III			耐震診断の結果耐震性有
36	金山町	横田公民館	金山町大字横田字居平601-1	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.40$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	III			耐震診断の結果耐震性有
37	昭和村	昭和村役場庁舎	昭和村大字下中津川字中島652	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=0.49$ $C_T \cdot S_D=0.30$	I	建替	令和11年度に工事着工予定	
38	昭和村	旧小野川分校	昭和村大字小野川字後沢508	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.85$	III			耐震診断の結果耐震性有
39	昭和村	昭和村生活改善センター	昭和村大字下中津川字中島652	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_S=0.09$ $q=0.35$	I-	令和6年度内に方針を決定する予定		用途廃止 令和5年度
40	昭和村	大芦管理センター	昭和村大字大芦字宮田1588	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_S=0.10$ $q=0.38$	I-	令和6年度内に方針を決定する予定		用途廃止 令和5年度
41	昭和村	へき地保健福祉館	昭和村大字大芦字中組48	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_S=0.43$ $q=1.74$	II		建物の使用方針について、令和11年度までに決定予定	
42	昭和村	小野川生活改善センター	昭和村大字小野川字前田674	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_S=0.10$ $q=0.40$	I-	令和6年度内に方針を決定する予定		用途廃止 令和5年度
43	喜多方市	喜多方市役所熱塩加納総合支所・熱塩加納公民館	喜多方市熱塩加納町相田字大森5000	庁舎・公民館	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.39$ $C_{TU} \cdot S_D=0.23$	I	建替	令和12年度完了目標	令和5年度に施設整備の方向性を決定したが、具体的な計画は現在検討中
44	喜多方市	喜多方市役所高郷総合支所	喜多方市高郷町西羽賀字十二林2820	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	III			耐震診断の結果耐震性有
45	喜多方市	熱塩加納体育館	喜多方市熱塩加納町相田字大森5000	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_S=0.27$ $q=0.49$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和8年度完了目標	
46	喜多方市	塩川福祉センター	喜多方市塩川町字東岡320-1	福祉センター	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.95$	III			耐震改修済み 平成30年3月完了
47	喜多方市	山都体育館	喜多方市山都町字広中新田1165	体育館	避難所	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_S=0.15$ $q=0.47$	I	地域防災計画の中で方針を決定する	令和8年度完了目標	

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考 (改修予定等の補足)
										内容	実施時期	
A	B	C		D	E	F	G	H	I	J	K	L
48	喜多方市	山都開発センター		喜多方市山都町字葎田960	庁舎	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.49$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	III	用途廃止	令和6年度	令和6年10月建替え完了
49	磐梯町	磐梯町役場庁舎		磐梯町大字磐梯字中ノ橋1855	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	III			耐震改修済み 平成29年3月完了
50	南会津町	南会津町役場館岩総合支所		南会津町松戸原50	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.69$ $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	II	令和12年度までの耐震化を目標に検討中		令和3年度改訂の地域防災計画より防災拠点施設から削除
51	南会津町	南会津町役場伊南総合支所・伊南会館		南会津町古町字館跡998	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.56$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	II	令和12年度までの耐震化を目標に検討中		令和3年度改訂の地域防災計画より防災拠点施設から削除
52	南会津町	南会津町役場南郷総合支所		南会津町山口字村上864	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.32$ $C_{TU} \cdot S_D=0.25$	I	令和12年度までの耐震化を目標に検討中		令和3年度改訂の地域防災計画より防災拠点施設から削除
53	南会津町	旧針生小学校校舎		南会津町字針生字下宮238	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	I	令和12年度までの耐震化を目標に検討中		令和3年度改訂の地域防災計画より防災拠点施設から削除
54	南会津町	南郷体育館		南会津町山口字村上1074	体育館	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.26$ $C_T \cdot S_D=0.82$	I	令和12年度までの耐震化を目標に検討中		1階～2階 令和3年度改訂の地域防災計画より防災拠点施設から削除
							「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.22$ $q=0.68$				3階 同上
55	只見町	明和振興センター		只見町大字小林字上照岡1300	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_T \cdot S_D=0.76$	III			耐震改修済み 平成31年2月完了 (既存棟②は新耐震基準の建築物)
							既存棟③	$I_s/I_{s0}=0.86$ $C_T \cdot S_D=0.44$				2～3階除却
56	川内村	川内村役場庁舎		川内村大字上川内字早渡11-24	庁舎	災害対策拠点	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{s0}=0.51$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	II	移転	令和9年度以降完了予定	R7.3議会で移転計画承認 R7基本設計、R8以降実施設計、工事の予定 コミュニティセンター跡地に移転
57	川内村	川内村コミュニティセンター		川内村大字上川内字小山平15	集会場	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=0.60$ $C_T \cdot S_D=0.58$	II	解体	令和8年度	上記同。 役場庁舎と合築予定
58	川内村	川内村村民体育センター		川内村大字上川内字小山平501-12	体育館	避難所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.06$ $q=0.17$	I	解体	令和8年度	用途廃止、旧中学校体育館で代用予定

## 附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上の主要な部分の地震に対する安全性の評価

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる可能性は低く、倒壊するおそれはない。

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性			
	I 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、 又は崩壊する危険性が高い	II 地震の震動及び衝撃に対して倒壊 し、又は崩壊する危険がある	III 地震の震動及び衝撃に対して倒壊 し、又は崩壊する危険性が低い	
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$	
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$	
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版、2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$	
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$	
一般財団法人日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」	上部構造評点 < 0.7	左右以外の場合	$1.0 \leq$ 上部構造評点	